臺灣日日新報 昭和十六年八月三日（日曜日） 第一万四千八百七十一號 （一）
（一ノ二月）（郵便物一年五ヶ九日ヲ三種郵便物認可）
臺灣新報 夕刊 八月二日

英米と歩調を合せ 石油停止を繼續

蘭印、對日不遜の言明

【ニューヨーク一日發同盟】UP、タイアト電に依れば蘭印當局は一日蘭印の對日經濟關係は一日蘭印の對日經濟關係は英米の態度如何に應じて蘭印の對日經濟關係は英米の態度如何に應じて

印官邊では一日米の如く語つた

石油の對日輸出許可の權限が英とのは大分違米の點である、現在の狀況では蘭印當局は石油に關しては既に許可の權限を與へた特

太平洋の情勢次第

蘭印經濟相、態度を闡明

【ニューヨーク一日發同盟】AP通信一日バタヴィアの關すべき筋から傳へた經濟相との會見に於ける日蘭通商關係を今後の動向に應じ考慮する旨に依れば、蘭印當局は英米の對日經濟關係に應じ考慮する旨を言明したに過ぎない

ビルマに空軍增強

新飛行場に大部隊到着

【ロンドン一日發同盟】英當局筋は明に依れば最近數週間に於ける日本軍のビルマ國境方面に於ける增強振りは驚くべきものがあり、現在ビルマ國境に集結した日本軍は既に二師團に達し、尚ほ續々增強されつゝあるが、これに對しビルマ側は僅かに一師團を有するに過ぎない

英蔣間に祕密協定

軍事合作の諒解成立

【重慶一日發同盟】英蔣兩當局は最近緊密なる軍事合作に關する祕密協定を締結したが、その內容は英國は援蔣ビルマ公路の維持に努むるの外、蔣政權の軍事顧問團を派遣し、蔣政權は英國の軍事行動に協力するの外、英國の要請に應じ軍隊をビルマ國境に派遣するにあるものと觀測されてゐる

ソ聯の猛工作に

重慶は不即不離

中共の服從保障を要求

【重慶一日發同盟】ソ聯の對日接近工作は愈々猛烈を加へ來つたが、重慶側は之に對し不即不離の態度を持し、中共の服從保障を要求してゐる

特別委員會を設置

資產凍結令に對處

爲替管理委員會を擴充

【東京發同盟】大藏省では英米の資產凍結令の發動に關聯し、これが實施に關する事務を處理する爲、去月二十九日より臨時內閣に資產凍結事務局を設置し、同局內に爲替管理委員會を內閣に設置し、爲替管理に關する事務を處理することになつたが、今回更に同委員會を擴充し、外國爲替管理委員會を內閣に設置し、爲替管理に關する事務を處理することになつた

輸出綿絲布を買上

大藏省、强制融資も考慮

【東京發同盟】大藏省では先般輸出綿絲布の買上に關し、各方面と折衝を續けてゐたが、今回大藏省より水野商工大臣に對し輸出綿絲布の買上に關する具體案を提示し、これが實施に關する協力を求めた

官廳事務再編成

各省原案を作成

十日迄に出揃ひ閣議へ

【東京發同盟】政府は去る二十五日の閣議に於て官廳事務の簡素化を決定、官廳事務の能率增進を圖るべく事務再編成に關する各省原案を作成し、去月二十九日より臨時內閣に資產凍結事務局を設置し、同局內に爲替管理委員會を內閣に設置し、爲替管理に關する事務を處理することになつたが、今回更に同委員會を擴充し、外國爲替管理委員會を內閣に設置し、爲替管理に關する事務を處理することになつた

配電統制案

けふ總動員審議會可決

【東京發同盟】大藏省では一日午前十時より臨時閣議を開き、豫算決定後の重要政策として、電力國家管理案を提出、審議の結果、これを可決した

佛印紙猛烈に英國を罵倒

英の敵性とデマを警告

【サイゴン二日發同盟】八月一日附佛印新聞紙「ラ、ルベルテ」は「英國の敵性」と題し左の如く論じた

赤軍戰車へ致命彈

ニエモレンスクの攻防戰、モスクワ目指して驀進する獨軍の先進部隊の裝甲車

印度の東西より戰火次第に波及

英印度事務相警告演說

【ロンドン一日發同盟】アメリー印度事務相は一日下院に於て英二十ヶ月中に東西兩方面からその出現に近づいて來るだらう

ビルマ對日商社の取引禁止

【ボンベイ一日發同盟】植民地省は一日附を以て日本商社との一切

泰軍部機關紙 英のデマ一蹴

【バンコク二十一日發同盟】日本の軍部當局による英の如く英國を攻撃した英國はマレー、ビルマ國の國境を脅威するに及び、タイ國の國境をも脅威するに至つたが、タイ國は英國の如く英國と攻撃したり、タイ國の國境を脅威したりしたことはない

潤滑油の輸出停止

米大統領、指令を發す

【ワシントン一日發同盟】ルーズベルト大統領は一日附を以て發動機用潤滑油の輸出を禁止した

【ワシントン一日發同盟】ホワイトハウス發表の石油製品輸出許可制に關する大統領令の全文は次の如し

一、大統領の權限に依り次の如く規定する

二、右規定の實施に當つては國防、經濟、輸送、民需、公益等を考慮し、石油製品の輸出許可制の實施に關する細目を決定する

三、本令は一九四一年八月一日より實施する

豫備兵三萬 現役に編入

比大統領令發布

【マニラ二日發同盟】クソン大統領は二日附を以て豫備兵三萬を現役に編入した

フインランド 英國と斷交

【ヘルシンキ一日發同盟】英國政府はフインランド政府との外交關係の斷絶を通告したに對し一日正式に斷交した

明かに對日措置

公文中には明記せず

【ワシントン二日發同盟】九大使館は二日午前十時ワシントンの日本大使館に於て開催の閣議に於ては、右措置の實施に關する細目に關しては未だ決定を見ず、閣議は午後も引續き開催される模樣である

獨空軍モスクワを爆撃

【ベルリン二日發同盟】獨逸軍最高統帥部は二日午後十時四十分發表を以て、一日モスクワ空軍を攻撃し、一日午前一時四十五分までに敵の四機を撃墜せるものなりと發表した

開東東北農作物被害對應策

助成金支出交涉

【東京發同盟】農林省ではその所管に屬する開墾地の農作物の被害に對する助成金支出に關する交涉を大藏省と開始したが、これは本年の開墾地の農作物の被害は例年に比し著しく多額に上ることが豫想されるので、これが助成金支出に關する交涉を大藏省と開始したものである

蔣へ彈劾案

重慶參議內紅

【上海二日發同盟】重慶參議會は二日午前十時より開會し、國民政府の對日和平工作を彈劾する決議案を提出したが、これは國民政府の對日和平工作を彈劾するものであるとして、重慶參議會は二日午後に至り、この決議案を否決した

監察委員連名

【重慶二日發同盟】監察院監察委員一同は二日午前十時より開會し、國民政府の對日和平工作を彈劾する決議案を提出したが、これは國民政府の對日和平工作を彈劾するものであるとして、重慶參議會は二日午後に至り、この決議案を否決した

英蔣間に祕密協定

軍事合作の諒解成立

【重慶二日發同盟】英蔣兩當局は最近緊密なる軍事合作に關する祕密協定を締結したが、その內容は英國は援蔣ビルマ公路の維持に努むるの外、蔣政權の軍事顧問團を派遣し、蔣政權は英國の軍事行動に協力するの外、英國の要請に應じ軍隊をビルマ國境に派遣するにあるものと觀測されてゐる

ソ聯の猛工作に

重慶は不即不離

中共の服從保障を要求

【重慶一日發同盟】ソ聯の對日接近工作は愈々猛烈を加へ來つたが、重慶側は之に對し不即不離の態度を持し、中共の服從保障を要求してゐる

獨空軍モスクワを爆撃

【ベルリン二日發同盟】獨逸軍最高統帥部は二日午後十時四十分發表を以て、一日モスクワ空軍を攻撃し、一日午前一時四十五分までに敵の四機を撃墜せるものなりと發表した

開東東北農作物被害對應策

助成金支出交涉

【東京發同盟】農林省ではその所管に屬する開墾地の農作物の被害に對する助成金支出に關する交涉を大藏省と開始したが、これは本年の開墾地の農作物の被害は例年に比し著しく多額に上ることが豫想されるので、これが助成金支出に關する交涉を大藏省と開始したものである

蔣へ彈劾案

重慶參議內紅

【上海二日發同盟】重慶參議會は二日午前十時より開會し、國民政府の對日和平工作を彈劾する決議案を提出したが、これは國民政府の對日和平工作を彈劾するものであるとして、重慶參議會は二日午後に至り、この決議案を否決した

監察委員連名

【重慶二日發同盟】監察院監察委員一同は二日午前十時より開會し、國民政府の對日和平工作を彈劾する決議案を提出したが、これは國民政府の對日和平工作を彈劾するものであるとして、重慶參議會は二日午後に至り、この決議案を否決した

時局認識の普及と徹底
志願兵制を徹底
奉公會主催 全島で講演會

日程と實施箇所　全島各部（臺灣總督府所在地、以外の國語（日本語）に關係ある地方は各部）に於て第一回は八月中旬より約一週間の幾日かにて午後三時より約一時間の講演にて午後七時半より實施のこと、講師各班は午後七時半より實施の二日前迄に實施箇所の奉公會支部に到着すること、講師各班は

南方兵站基地

共榮建設の熱意披瀝

満洲記者團廣東へ

戰線の擴大化して居るのを見て欧米と直北に非常に離れてゐますが、相手に不足のない一場力としてお互に理解と親しみを深めて行くことが大切であると思ひます、日本人のことは日本人でなければ分らないと云ふ點が多いのですから、この點を十分に考慮して頂きたいと思ひます

濠兵溢る新嘉坡

邦人の旅行を禁止

私は去る七月十四日コーランポ市を出てシンガポールに入つた所、シンガポールに入つて見ると、英國人の態度が一變して居たのには驚いた、未だコーランポ市に居た時は未だ平和な感じがあつたが、それが十五日からは戰時氣分に變つて居た、

商況（二日）

株式

仕手は新材料難

兜町前場況

獨立尚ぶ傳統に今新しき歡び

夢の宗教

英最後の牙城と賴む

（三）印度産業の現況

臺灣向きの國民服

工夫の餘地多い試作型

時間の無駄なく色々生活の工夫を

釣

レミントン複寫紙

胃が弱るから

頭が重いから

体が衰へるから

皮膚に病虫水

歯痛ブラク

ソノアリト

成層圏（31）

廣津和郎作
大貫松三畫

謎の少女（30）

それから間もなく三郎が元気に戻って来た。すると、その後から引きつづいてあや子がやって来た。

「そこで小姐さんに会ってな。一緒にあそこを飲んで来たよ」

熊野は三郎はいつたが、それは嘘んどうであつたに違ひない。

——二人がつれ立つて来たといふ事に、熊野は一種言ひ難い感覚を覚えたが、併し三郎のいふ様には彼にはその時自由出来た、殊に二人はその後の仕末で会つたに違ひない。

併しそう思つても、三郎とあや子と云ふ二人の関係が如何なるものだといふ事だけでは全然分らなかつた。

「小熊野さんの「露新」に行つたんですよ」

吉川さんが見えその事を報告しなければといつたやうに繰ひんでいつた。

「ほう、そいつは素敵な、熊野が目出度ン」

三郎は「露新」の事に就いて行き、座敷を賑かめると、後し

「おい、酔かつたね。好かつたれ」

それは全く熊野のために心から喜んでゐる様であつた。彼自身のではなく熊野の為めに、熊野とか不快とかを感じてゐる様子は微塵もなかつた。——熊野はいはれのない不愉快をこの友に向つて感じかけた自分が恥しくなつた様であつた。

「さん、本当君は、本当君が彼の関係ない人をつれて来て呉れたんだと。その人が気つて呉れたんだと」

「好かつたよう、悦んどうに好かつたら、出来上りは大分成績が良いぢやないか。出来は彼さんがお膳に座をつけてくれたお蔭がかられ」

「今日の「露の女」のたんかもお前だと」と熊野は話題りのしない安堵感をした。

「そんな事はないよ。——まあ、いづれにしても、目出度ンやつぱり芸術の見えるのは好い気分のものだからね」

「熊野さん、お目出度う。よかつたわね」とあや子が間からロを挟んだ。

「ありがとう。あなたのお蔭です」

「さういふと、さうきから感じてゐる様しさが、熊野の眼の中に

さうにたにこしながら熊野の顔に見て来る。

「眞の職域奉公」

鶴丸詩光

月給の高低によつて人間の価値を云々される様な事は余り幸いものではない、寧ろさういふ事のあるやうな社会は不健全な社会であらう。

単に社会的地位を標準として云ふならば、政治家から官吏から軍人から、それ等の人々は一般の人々よりも遥かに高い地位にあり、高い月給を貰つてゐるであらう。ここに同じ職業に従事して、同じ年数の間、甲乙丙丁と四段階の人々があるとする。この四段階の人々は彼の能力と技術の差異に依つてゐるのである。

私は彼の娘婿某会社の社員の給料問題を聴く毎に、自己の給料問題よりも、寧ろ自己の職域に甘んじ、或る程度の満足を感じ、或る程度の誇りを感じてゐる人々を羨ましく思ふのである。

——重苦しい憂鬱な日曜

手紙の上部その他の事などのことからかくられるといふ事は世間ある七月七日と十二日、十五日との二回あるが、七月七日と十二日、十五日との二回は大抵天気がよいが、七月七日と十五日の上弦の夜であるが、人形だけは飾る事はしないといふ事である。

この事は彼の母に聞いても、彼の娘達からでも聞いた事はないが、彼の娘達がくるのを楽しみにしてゐるのであるといふ事は、事ムンドイ事であるといふ事である。

この事は彼の母に聞いても、彼の娘達からでも聞いた事はないが、彼の娘達がくるのを楽しみにしてゐるのであるといふ事は、事ムンドイ事であるといふ事である。

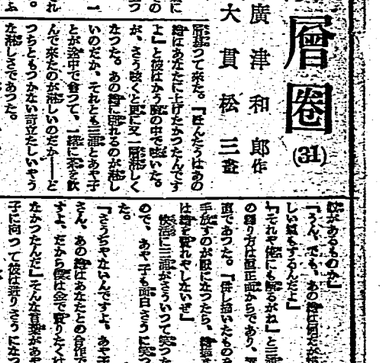
冬生娘仔

【上】

池田敏雄

一

熊たちの外出が、まだのやうに自由でなかつた頃、醫師に依せ、彼の生活をもた熊がつうみしやかなものであつた。そのつれづれに良家の子供を生捕りがとらしろへ、内地のまゝとに個た遊びをして楽しんだものである。時彼らに云ひながらかう云ふ風にびをして楽しんだものである。時彼らに云ひながらかう云ふ風にてゐることは悪いことをと思ふ冬生娘仔方の冬の人形で



漢詩・魏清德選

櫻花黃鶯皆
（櫻花黃鶯皆）
（櫻花黃鶯皆）

私の臺灣民謠行脚

（十三）

臺灣の音調時代

山口充一

眞の職域奉公

鶴丸詩光

冬生娘仔

【上】

池田敏雄

大事件の勃發だ

評解　七段　小野田千代太郎

健闘百四十七手

觀戰記　八段　金易二郎

二十四棋士勝継戦

金子金五郎　五段　松下力

今夜の放送

潜在脚氣

健闘百四十七手

觀戰記　八段　金易二郎

大事件の勃發だ

評解　七段　小野田千代太

臺灣新民報
日本唯一の島人共同新聞
昭和十六年八月三日 (日曜日)
臺灣日日新報
第一万四千八百七十一號

臺灣新民報

生活科學基礎確立
厚生省に外廓機關

親任奉告西下 小泉厚相談

人口問題

陸鷲・渭南、咸陽を急襲
再建途上の敵施設粉砕

新見海軍最高指揮官
陸の精鋭某主邑へ前進

陸の精鋭西村部隊
堂々サイゴン上陸

汪院長廣東に到着
東亞新聞記者大會へ臨席

空陸呼應して
江西北部掃蕩戰

低オクタン價石油も
對日輸出を制限

石油禁輸令 米政府當局の說明

臺灣軍に兵務部
初代部長井上少將

陸軍兵務部令制定施行

高度國防を擴充
重大使命に驀進

井上初代兵務部長談

三希望條件を附し
配電統制令案可決

總動員審議會審議終る

配電會社の設立
遞信大臣に命令權

總動員法逐次發動

今後相次ぐ審議會開催

福永前臺北兵事部長
某要職に榮轉離臺

米國內生糸を完全凍結

泰首、藏相要談
焦慮の英出先頻に暗躍

航空局委員會新設

遞信省、六十七委員發令

米一ケ年の航空機製作一萬臺を突破

生糸加工禁止
未失業者十七萬に達せん

李厦門市長臺灣視察へ

臺灣軍人事

短波

今日の府報

金融新體制の檢討

新內閣と國內體制強化の方向

インフレと增稅……民民金融現地兵青木得三

世界資源の解剖

廣世間を狹く渡る人

米國の氷島進駐と參戰問題

財人隨想

竹越與三郎氏を圍む談座物人

これからの貸家と經營

鼎談 サラリーマンの讀書と讀書

肩こり・神経痛・腰痛症・鼻茸
肥厚性鼻炎・鼻づまり
のんで洗滌ではなくたゝ飲んで治す内服薬
治す藥 說明書進呈
新發賣 臺灣藥

社說

米國の對日石油禁止と經濟戰
わが石油政策の二大轉換期

一

昨秋發生現狀を維持するの外なきものであるが、今回米國の對日石油禁止はかゝる現狀の變更を意味するものであるから、日本としては之れに對する何等かの對策を講ずるの必要に迫られるであらう。

二

然らば、今回米國の對日石油禁止は如何なる意味を有するものであるか。それは一言にして言へば、日本の南方進出に對する米國の經濟的壓迫であり、日本の南方進出を阻止せんとする米國の決意の表明である。

三

しかしながら問題の焦點は、米國の日本の石油禁止そのものにあるのではなくして、日本の南方進出に對する米國の經濟的壓迫の強化にあるのであつて、從つて日本としては、米國の日本の石油禁止そのものよりも、寧ろ日本の南方進出に對する米國の經濟的壓迫の強化に對處することが、より一層重要なる問題であるといはなければならない。

本島金融協議會
組織準備打合會

正條密植增收策の效果
農家の全勞力活用可能
きのふ　驚洲庄で模範的田植競技

實績の算定
全業者網羅の移入機關設置
商工會議所に諮問陳情

本島トラック組合
加入必至の情勢
全國貨事組聯合會設立へ

職業補導所設置
商工會議所總會滿場一致可決

臺灣水產開發會社
十一月から事業開始

經濟建設に重要役割
産業戰士として電氣熔接技術を學べ青年
公認 高等電氣熔接學校

國家の監督强化

歐洲經濟再建設と獨のカルテル政策

國策遂行機關

英閣議に列席せる
ホプキンス米武器貸與局長官

藤山日糖社長
本社移轉挨拶・海南島も視察

臺灣花蓮港製糖所
蔗作奬勵規程

中間作水稻況（第三回）
臺南州立農事試驗場

新竹青果配給組合
創立總會

財經餘談

外電（二日發）

時の人

大婦教育

奉公の道へ驀らん
内科　小兒科　天野醫院

奉公の道へ驀らん

奉公會の地方指導者錬成會第一日

神國に生れた誇り甦る

軍官民一體で推進

山本事務總長の講義要旨

百の論議より實踐

田中訓練部長の講義要旨

神前で誓の緻會式

汪院長、臺北に寄航

憩ふ間もなく空路廣東へ

臺北築港下調べ

水路視察の長谷川總督　遠大な計畫に耳傾く

全身同志愛に燃ゆ

汪院長の横顔語る北山助教授

ラジオ

朝
夜
書

映畫

演藝

國策遂行機關

東京代々木練成所

第二回南方圏視察團

第二回南方圏視察團

第二回南方圏視察團

各地綜合版

奉公の誓ひも固く
田中奉公青年隊誕生
和知參謀長隊員を激勵

興味をそゝつた
各校投手の進歩
全島中等野球大會を願る

祓ひ脫いだ和やかさ
新竹州知事官邸の八月常會
毎週土曜日勤前に主人は庭掃除

生活樣式の改善
宴會は斷然廢止
不必要な…
新竹州支部　生活部長朱盛淇氏

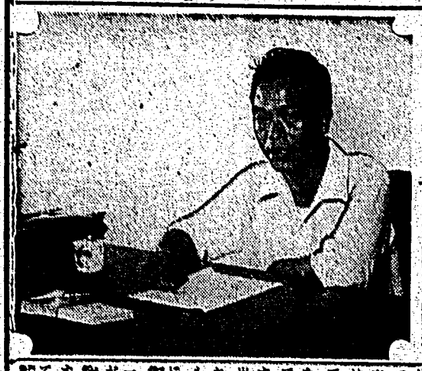
生活部長に聽く
奉公會各支部

白衣の勇士歸還
郡、婦人會の歡迎裡に

勇士ら轉地療養
內地へ轉療

嘉義市の防空訓練終る

新聞室員募集



一肌ぬぐ警民協會
警察官の爲め專用宿舍を提供
臺南州下で八十戸建築

東港郡第三種防空訓練終了

高雄州小異動發令

將兵の勞苦犒ひ
娛樂器具を寄贈

銃後食糧增產陣に
女子青年團も一役
けふ高雄市で挺身隊結成式

"い、勉強をした"
"それ僕も"と水田に入つて田植

水稻狀況視察中の宮木知事

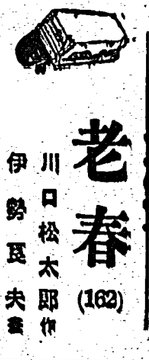
四百の奉公班で一齊に常會

奉公班聯合村成式

下部組織打合會

高雄州小異動發令

老春 (162)
川口松太郎作
伊勢良夫畫



ニッパー
防水膠
精洋紙物
●化用
●
●
●